

次世代社会インフラ用ロボット技術・ロボットシステム（公募）

資料2

概要書

国土交通省

- 維持管理（橋梁、トンネル、水中）及び 災害対応（調査、応急復旧）に役立つ技術として、「現場検証・評価」の対象とする「ロボット技術・ロボットシステム」を募集。
- 国土交通省の直轄現場等において、現場検証・評価を行い、その技術の実用性を確認し、その結果を踏まえ、活用、開発・改良を促進。
- 「次世代社会インフラ用ロボット現場検証委員会」において、現場検証及び評価を実施。

【公募技術】

－対象技術－

- a) 現場検証を通じ実用性の確認やその更なる向上が期待される実用化技術
- b) 短期（概ね3年以内）に実用化が見込まれる技術

－対象分野－

- I 『橋梁・トンネル・水中（ダム、河川）の点検用』 のロボット技術・ロボットシステム
- II 『災害調査・災害応急復旧用』 のロボット技術・ロボットシステム

応募は、4/9より、
国土交通省ホームページにて開始。

【応募者】

・「個人」、「民間企業」、「大学等」

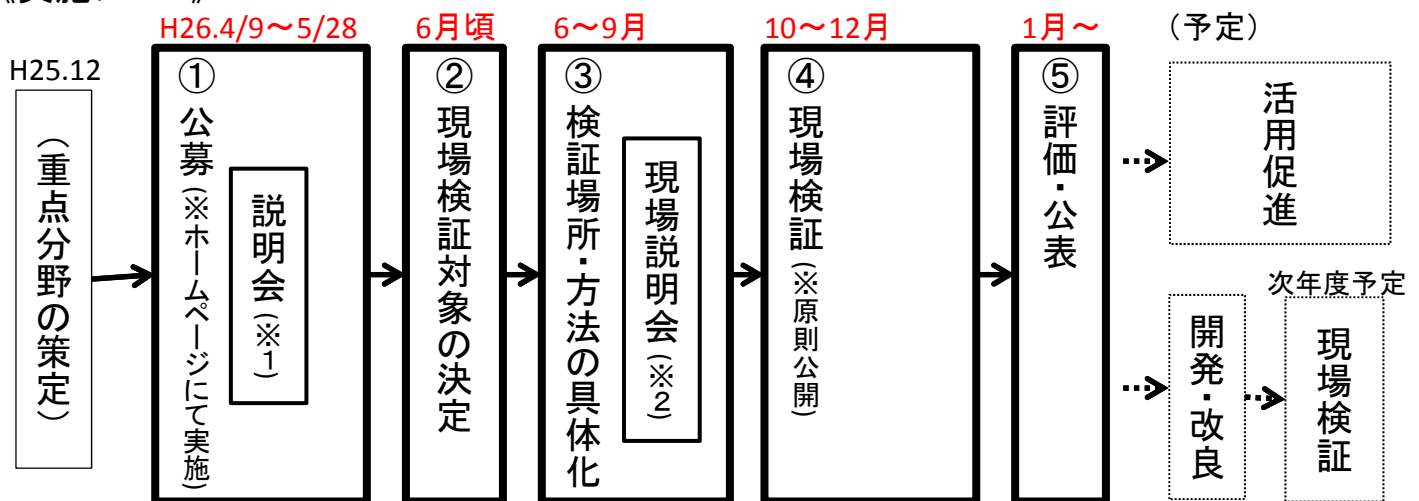
【現場検証・評価】

- ・直轄現場等において実施（募集後決定）（※現場検証は、原則公開）
- ・公募要領に示す「基本要件」、「公募技術に期待する項目」の達成度、現場で把握された課題・効果、今後の発展性を評価

【その他】

- ・本公募と並行して、開発途上の新技術の支援策としてNEDOによる『インフラ維持管理・更新等の社会課題対応システム開発プロジェクト』を実施。（詳細は、NEDOホームページにて）

《実施フロー》



※1 公募の説明会は、4/17～23、国土交通省（本省）にて実施予定（4/9の公募後にホームページにて連絡します）

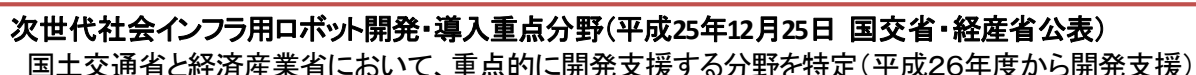
※2 現場説明会は、6月予定の「現場検証対象者の決定」後に、調整予定

※3 お問い合わせは、4/9～5/23に、下記宛（メールアドレス）にお願いします（検証候補地への問い合わせは禁止します）

《お問い合わせ※3： 国土交通省総合政策局公共事業企画調整課 ロボット技術担当 robotech@mlit.go.jp》

参考

※本公募と並行して、開発途上の新技術の支援策として、NEDOによる『インフラ維持管理・更新等の社会課題対応システム開発プロジェクト』を実施しております。
詳しくは、NEDOホームページをご覧ください。



(2) 災害対応

○災害状況調査

-

-

- 

- 

- ## ○災害状況調査(土砂崩落、火山災害、トンネル崩落)

-

-

-

-

- ### ○応急復旧(土砂崩落、火山災害)

- ・応急復旧ができる技術
- ・排水作業の応急対応ができる技術
- ・遠隔・自律制御にかかる情報伝達ができる技術

